

埼玉県深谷市にある主な畠山重忠ゆかりの史跡

名称	説明	写真①	写真②
<p><b>畠山重忠墓</b></p>	<p>畠山館跡に残る大型の五輪塔6基が「畠山重忠墓」として大正13年に埼玉県史跡として指定されている。五輪塔は、凝灰岩製で鎌倉時代の特徴をもち、中でも高さ1.8メートルの中央の五輪塔が畠山重忠の墓といわれる。現在は、覆屋の中に保存されている。</p>		
<p><b>重忠公の銅像</b></p>	<p>一の谷の戦いで「<small>ひよどりごえ</small>鶴越<small>さかお</small>ひよどりごえの逆落とし」の場面で愛馬「三日月」を背負って坂を下った重忠の雄姿</p>		
<p><b>重忠公産湯の井戸</b></p>	<p>畠山重忠の内室(身分が高い人の妻のこと)「菊の前」は、合戦の連絡を受け、急ぎ駆けつけました。しかし、この地で重忠戦死を聞いて悲しみ、自害しました。その場所に駕籠ごと埋葬されたといわれています。以前は、浄水場の中に周りを囲まれた大きな塚があったそうです。昭和30年に場外に移され、その後、昭和49年に現在の姿に整備されました。</p>		

協力:深谷市教育委員会